

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

愛の園保育園

本園は、1948（昭和23）年に認可保育園として開業し、キリスト教保育の理念を基調として運営を続けて参りました。私たちの保育理念は、神さまからお預かりした子どもたちを、心を尽くし、精神を尽くしてイエスキリストの愛をもって育てることです。キリスト教保育とは、子どもたち一人ひとりが神によって命を与えられた者として、イエス・キリストを通して示される神の愛と恵みのもとで育てられ、今の時を喜びと感謝を持って生き、そのことによって生涯に渡る生き方の基礎を培い、共に生きる社会と世界をつくる自律的な人間として育つために、保育者がイエス・キリストとの交わりに支えられて共に行う意図的、継続的、反省的な働きであると捉えて、日々の保育を行って参りました。

2010（平成22年）度の3月より社会福祉法人として新たな歩みを始めることとなり、安心こども基金を利用して園舎を新設し、それに伴い定員が60名から90名となりました。大きな変革の中で、当園に従事する職員が新しい環境に即応した保育運営を模索して参りました。

この度評価を受けた改善内容については、早速施設内で話し合いを行い、改善に努めております。取り組みが出来る点は、翌日より着手しておりますが、保育の質の向上等、評価結果に甘んじることなく、更なる取り組みを高める意識作りを進めてまいります。建物の広さなど、物理的な限界はありますが、なお改善方法を発見するために、職員全員で創意工夫を重ねながら、子どもにとって楽しく安全な空間作りを進めて参ります。2014（昭和26）年度は業務の見直しを積極的に行いながら、サービスの質を高める努力を続けます。また、新年度の事業計画に、さまざまな子育てに係る「地域のニーズ」に一層積極的に応える取り組みを加えてまいります。職員には「利用者の安心・安全・満足」の実現を継続的に進めるように周知徹底いたします。